

令和4年度学校評価について

1. 学校教育目標

<p>日に新た 自ら学び 心豊かに たくましく</p> <p>《めざす子ども像》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らを日々成長させようとする子ども 《毎日を大切にし、向上心を持って日々生活できる子ども》 ・自ら学び、考え、行動できる子ども 《主体的・協働的に学び、自ら考え、行動し、夢や希望をもてる子ども》 ・心豊かで、思いやりのある子ども 《多様性を認め合い、尊重し、自分も他者も大切にする子ども》 ・健康でたくましい子ども 《健やかな心と、健康でたくましい心身を育もうとする子ども》
--

2. 学校経営方針

<p>日本国憲法、教育基本法、関係諸法規、また、大阪府や枚方市の教育振興基本計画、「令和の日本型学校教育」「枚方市のめざすべき教育・目標・基本方策」「禁野小学校における 新しい学校づくり 環境整備概要」等に則り、知(確かな学力)・徳(豊かな人間性)・体(健康・体力)の調和のとれた生きる力を育み、子どもたちの未来への可能性を最大限に伸ばす学校教育を行う。</p>

3. 本年度の取組内容及び自己評価

基本 方策	項 目	・本年度の重点目標	○具体的な取組内容 (◆活動指標・成果指標を含める)	□取組内容の自己評価
確かな学力と自立の力を育む教育の充実	学 習 指 導	「Hirakata 授業スタンダード」を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」の実現で、児童の資質・能力の向上を目指す。 ICT機器の有効活用	○全国学力・学習状況調査やすくすくウォッチ、学力向上アンケート等の結果を踏まえ、小中一貫・学力向上推進コーディネーターが中心となり、具体的な目標を設定した「学力向上プラン」を策定し、取組を進める。 ◆()内以上の児童が肯定的な回答をすることを旨す[以下同様] ①「授業は分かりやすい」(90%) ②「普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられている」(80%) ③「友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」(80%) ④「家で、宿題以外の勉強(復習や自学自習)をしている。」(70%) ○ICT機器の活用推進 ◆児童が「テレビやパソコンを使った授業は分かりやすい」(85%)	□校区の推進委員会を月1回、各学期に授業交流を行い、また、学力向上アンケートを年4回実施し、授業改善や学力向上に取り組んだ。 □学校教育自己診断、授業アンケートにおいて、左記のことについて肯定的に回答した児童の割合 ①96.4%(1～6年生) ②97.8%(6年生)86.7%(5年生) 98.4%(4年生)95.2%(3年生) ③97.7%(6年生)85.3%(5年生) 93.6%(4年生)88.7%(3年生) ④59.1%(6年生)58.8%(5年生) 62.9%(4年生)67.8%(3年生) □「ICT機器を活用した授業を行っている」と肯定的に回答する教員が88.8%、「ICT機器を使った授業は分かりやすい」と肯定的に回答する児童(1～6年生)が97%であった。

<p>豊かな心と健やかな体を育む教育の充実</p>	<p>人権教育</p>	<p>人権尊重の精神にたった学校作りを進め、すべての児童の自立・自己実現・豊かな人間関係作りを図る。</p> <p>いじめの未然防止及び早期発見・早期解決を図る。</p> <p>・障害のある児童の理解と適切な指導を推進するとともに全校的な支援体制を確立し、学校体制の充実を図る。</p>	<p>○人権尊重の精神にたった学校作りを進める。</p> <p>◆「学校へ行くのが楽しい」(90%)</p> <p>◆日々の実践を再点検し、「枚方市生徒指導マニュアル(いじめ防止編)」等を活用し、教職員全体の共通認識を深め、教育活動を行い、定期的な教育相談や学期に1回以上のアンケート調査等により実態把握と早期解決を図る。</p> <p>◆「先生はいじめや困ったときに真剣に対応してくれる」(90%)</p> <p>○支援教育コーディネーター等を中心とした支援教育体制を確立し、組織的に指導する。</p> <p>◆校内や保護者、関係機関とも連携を図るとともに、きめ細かな対応を行うため、定期的な人権全体会や必要に応じてケース会議を行う。</p>	<p>○人権尊重の精神にたった学校作りを進めることができた。</p> <p>◆「学校へ行くのが楽しい」という児童(1~6年生)が93.2%</p> <p>□「枚方市生徒指導マニュアル(いじめ防止編)」や新聞記事等を活用し、生徒指導担当教諭主催の研修会を実施し、日々の実践を振り返る研修を行った。また、各学期1回のアンケート調査等によりいじめの実態把握を行なった。その結果、「先生はいじめなど私たちが困っていることに真剣に対応してくれる」と肯定的に回答する児童(1~6年生)が94.8%であった。</p> <p>□支援教育委員会を月1回実施し、全教職員が参加する学期に1回の会議で情報交換や個々の問題の対応状況を確認し、連携した。また、障がいの状況に応じた「個別の指導計画」を作成し、きめ細かな指導を行い、児童の能力を伸ばすことができた。</p> <p>関係機関と連携を図り、ケース会議も必要に応じて行った。</p>
<p>教職員の資質と指導力の向上</p>	<p>服務規律の確立</p>	<p>・信頼される学校づくりのため、教育公務員としての自覚と責任を持ち、教師としての資質の向上を図る。</p>	<p>○ハラスメント委員会を設置し、ハラスメントに対する校内体制の強化を図る。</p> <p>○「不祥事予防に向けて自己点検《チェックリスト・例》(改訂版)」「不祥事防止に向けたワークシート集」等を活用し、定期的に全教職員に対して服務規律の徹底を図る。また、日常的に新聞等を活用し、指導を徹底する。</p> <p>◆教員が「教職員の服務規律に関して気になることはない」(100%)</p>	<p>○ハラスメント委員会を設置し、研修を行い、ハラスメントに対する校内体制の強化を図った。</p> <p>□「不祥事予防に向けて自己点検《チェックリスト・例》(改訂版)」や新聞記事を活用し、学期に1回以上研修を行った。また、日常的に新聞等を活用し、研修を行った。</p> <p>□100%の教員が、「教職員の服務規律に関して気になることはない」と回答し、「教職員の服務に関して気になることはない」と肯定的に回答する保護者が96.7%であった。(具体的な意見は0)</p>
<p>ネットの構築</p>	<p>研修</p>	<p>「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進める。また、相互授業参観やビデオ等を活用した授業研究を行う。</p>	<p>○授業研究や校内研修の充実により、指導方法の改善、教員の授業力の向上を図る。</p> <p>◆教員全員の学期に1回以上の公開研究授業の実施。</p> <p>◆ユニバーサルデザインに基づくわかる授業研究と実施。</p> <p>◆年1回以上の市内公開研究授業を行い、外部講師や指導主事、教育推進プランナーから指導していただく。</p>	<p>□全教員が学期に1回以上、公開授業を行い、指導方法の改善、授業力の向上を図った。</p> <p>□教員全員が学期に1回以上の公開研究授業を実施した。</p> <p>□年1回の市内公開研究授業を行い、研究授業を実施した。また、今年度2回、算数教育アドバイザーの方から指導、助言していただき、授業力向上を図った。</p>

<p style="text-align: center;">生 徒 指 導</p>	<p>カウンセリングマインドに基づき、人権尊重の視点に立った組織的かつ連携のとれた指導に努める。生徒指導主担者を中心とした、より機動的な生徒指導体制の充実に努める。</p> <p>安全・安心な教育環境の充実に図り、児童の豊かな人格形成を行う。</p> <p>不登校の未然防止及び早期発見・早期解決を図り、小中学校9年間を見据えた生徒指導を行う。</p>	<p>○カウンセリングマインドに基づき、人権尊重の視点に立った生徒指導を行う。生徒指導主担者を中心とした指導体制を確立し、組織的・機動的な学校運営を行う。</p> <p>◆校内や保護者、関係機関とも連携を図るとともに、きめ細かな対応を行うため、定期的に交流会を行う。</p> <p>◆「先生の指示で行動する落ち着いた授業が行われている」(90%)</p> <p>◆「地震や台風のと き どうしたらよいか教えてもらっている。」(90%)</p> <p>○不登校のない学校づくりの推進</p> <p>◆個々の生徒のきめ細かな観察と早期対応の実施。</p> <p>○基本的な生活習慣の確立及び学習・学校生活の規律の徹底、あいさつやチャイムを守る指導</p> <p>◆「チャイムを守って行動している」(90%)</p>	<p>○生徒指導主担者を中心とした指導体制を確立し、組織的・機動的な学校運営を行った。また、枚方市支援教育学校園支援事業校に認定され、専門家を年5回派遣していただき、教職員支援教育の充実に図った。</p> <p>◆「先生の指示で行動する落ち着いた授業が行われている」 95.4%(6年生)91.2%(5年生) 96.8%(4年生)96.8%(3年生)</p> <p>◆「地震や台風のと き どうしたらよいか教えてもらっている。」(1～6年生) (96.7%)</p> <p>◆「チャイムを守って行動している」 97.8%(6年生)92.6%(5年生) 95.2%(4年生)98.4%(3年生)</p>
--	--	---	--

4. 学校教育自己診断の実施状況

学校教育自己診断の結果と分析
<p>①実施時期〔令和4年11～12月〕</p> <p>②対象〔保護者・生徒・校長・教員〕</p> <p>③結果から特記すべき事項と分析 保護者に配布済み</p>